

2026年2月 北海道・標津研修会 実施報告書

◆実施日：2026年2月16日(月)～2月20日(金) (4泊5日)

◆参加者：17名 (中国：13名、台湾：2名、フランス・日本：各1名)

カン エンサン	国士舘大学	チョウ トクケン	共立日語学院
オウ ヨ		フウ カホウ	
ギ セイ		コウ ハク ギ	
チョウ タクウ		チョウ ソウライ	
オウ イ		ト ケイロ	
ヨウ フクゴ		オウ ヒョウセツ	
エイ シシン		ホウ モン ホン	
ハク シホウ	駒澤大学	グルデマン サロメ	新宿日本語学校
シシクラ ユリコ			

◆スケジュール

月日	時間	日程
2/16 (月)	11:00 12:45 14:22 15:20 18:30	羽田空港 集合 羽田空港 発 (NH377) ※出発 10分遅延 中標津空港 着 (-4℃) 標津サーモン科学館見学 夕食 @温泉ホテル喜楽来
2/17 (火)	09:35 10:00 13:30 18:30	ホテル発 スキー体験&雪遊び @金山スキー場 昼食 @食事処しのだ 自由散策 夕食 @温泉ホテル喜楽来
2/18 (水)	09:10 09:30 12:00	ホテル発 スノーシュートレッキング @ポー川史跡自然公園 昼食・自由散策



月日	時間	日程
	14 : 10	<p>～対面式・ホームステイスタート～ @標津町文化ホール</p>    <p>対面式</p> <p>@各家庭</p>
2/19 (木)		<p>標津町 ホームステイ体験</p>       <p>大西家 クルママンさん、シシクラさん</p> <p>林家 オウ イさん、ヨウさん、エイさん</p> <p>新宮家 ホウさん、フクさん、コウさん、 チヨウ タクウさん、 チヨウ トクケンさん</p> <p>井南家 カンさん、オウ ヨさん、キキさん</p> <p>谷地田家 ハクさん、 チヨウ ソウライさん</p> <p>伊藤家 オウ ヒヨウセツさん、 トさん</p>
2/20 (金)	10 : 10 10 : 50 12 : 00 15 : 45 17 : 20	<p>退村式 @標津町文化ホール</p> <p>野付半島散策</p> <p>昼食 @標津町文化ホール</p> <p>中標津空港 発 (NH378) ※出発 50 分遅延</p> <p>羽田空港 着、解散 (9℃)</p>   <p>@野付半島</p> <p>キタキツネ (コウさん撮影)</p>

2026年2月北海道・標津研修会の活動が

2026年3月1日（日）の釧路新聞で紹介されました！

2026年3月1日（日）釧路新聞



日本の暮らし体験

標津で研修 留学生ホームステイ

【標津】留学生支援や国際交流促進に取り組む国立国際交流奨学財団（東京）の標津研修会が2月16～20日にかけて、町内で開かれた。各国からの留学生など18人が町内の家庭でホームステイし、標津での暮らしを体験するとともに、住民と国の垣根を越えた交流を育んだ。

標津での研修は2012年から年に1、2回実施しており、今回で19回

目。中国、台湾、インドネシア、フランス、日本から18人が参加した。前半の2泊はホテルに泊まり、後半の2泊は町内六つの家庭でホームステイした。

16～18日には標津サイモン科学館の見学やスキー体験、スノーシューとレッキング体験を行い、19日は丸一日、ホームステイ先で各家庭の普段の暮らしを体験した。このうち大西牧場の大西由美子さん、輝男さん宅にはフランス出身のグルデマン・サロメさん（33）ら2人が滞在。昼食前には由美子さんと一緒にいちご大福の難関は白玉粉を加熟して作った皮で餡を包む作業で、2人は熱い生地を悲鳴を上げながら伸ばし、野球ボール大の大きさにならないいちご大福を作りあげた。昨年9月から来日しているというグルデマンさんは「イチゴに餡をまぶす作業が楽しかった。とてもおいしい」と笑顔を見せ、日本の食文化に親しんでいた。（橋本梓）

標津の家庭を体験した研修



※本記事の掲載については、釧路新聞社の許諾を得ています。